



いつまでも元気でね。当小4年4組と楽しいひととき（9月9日・「ゆとる」デイサービス）



ようこそ おはよう 町長室へ

「町長おはようございます」月曜日の朝は、町長室に町民の方の声が響きます。

泉亭町長は就任以来、毎週月曜日を町民皆さんとの対話の時間として、「おはよう町長室」を開いてきました。

これまでに、数多くの方が町長室を訪れ、要望やご意見はもちろん、まちの話題や個人のアイデアなど気さくな雰囲気の中、町長との対話が弾んでいます。この対話の中から、町が確認して取り進めること、町民の皆さんに積極的に行動していただきたいことなどを話し合い、まちづくりについての理解を深めていただきたいと思います。

特に個人や団体、ボランティアなど、自分たちの活動報告に訪れた方々は、日々の活動、これからやろうとしていること、活動の成果などを話され、それぞれの努力や頑張りが十分に伝わり、皆さんの活躍が町に元気を与えてくれるものと確信しています。

「こんな工夫をすると住みよいのではないか」「こんな事をすると美しいまちづくりに結びつくのでは」と、日常生活の中で、ふと思いついたことや「私たちはこんな活動をしている」「充実した活動のためにこんなことを考えている」など、どんなことでも結構です。「こんな事わざわざ言いに行くほどでもないかな」「私たちが町長室に足を運ぶのはちょっと・・・」と思っている方も、ぜひ一度いらしてみませんか。個人でも団体でも構いませんので、お茶を飲みながら町長との会話を楽しみませんか。

こんなお話にきています

要望と住民活動

◆西当別地区の

インターネット環境の整備を

2月16日 西当別地区住民

超高速インターネット接続ができるブロードバンドサービスの開始を
実現したいと要望にきました。

町長は、前向きに検討したいがインターネットの利用ニーズの把握を
していただきたいとお願いしまし
た。

その後、「西当別に高速インター
ネットの実現をめざす会」が組織さ
れ、町商工会と共に、「高速ブロード
バンドサービスの早期実現を目指す
署名活動」が行われ、約800件に
も及び署名簿が提出されました。
町民が主体となり活動した成果を
重く受け止め、町長は、N T T 東日
本や北海道に要望を行い、今年11月
22日からのサービス開始が実現しま
した。

◆道道当別浜益港線に

「ふくろう街道」の愛称を

7月5日 当別ふくろうの会（大津
正一会長ほか）

ふくろうの探鳥会やふくろう展の
開催などの活動を続けている当別ふ
くろうの会は、青山に向かう「道道

当別浜益港線」沿いには、道民の森
があり、ふくろうが生息しているこ
とや、町の鳥ふくろうに町民が親し
みを持つことができるよう同路線に
「ふくろう街道」の愛称を付けてほ
しいと要望にきました。

この要望には、同会が会員や町民
に賛同を呼びかけ1、723人の署
名簿も一緒に提出されま
した。

町長は、同会の熱心な
活動と要望の趣旨を受け、
9月1日から同路線を「ふ
くろう街道」としました。



まちづくりのアイデア

◆中小屋にある沼の活用

6月21日 中小屋地区住民

中小屋中学校近くにある沼（通称
まろめ沼 円沼）を公園として整備してはどうかと提案にきました。

草刈りなど地域住民ができる範囲
のことは行っていききたいので、町も
協力してほしいと
のことでした。

町長は、地域の若
い方々のこうした
活動を是非続けて
ほしいと激励する
と共に、町が行うべ
き事は協力してい
くと答えました。



団体活動

◆団体活動報告

4月19日 当別21夢倶楽部フィルム
コミッション（高松正人会長ほか）

今年3年目の活動に入るフィルム
コミッションは、これからも住民活
動として頑張っていきたいと今後の
抱負を話しました。

同会は、町内でロケーションが行
われるなどの活動がある度に、おは
よう町長室に訪れ、町長に内容を説
明しています。団体活動をアピール
する場として、うまく活用していま
す。

◆北海道新聞

ボランティア奨励賞受賞報告

8月9日 当別町ボランティア連絡
協議会（八木和香美会長ほか）

地域福祉の向上を目指し、町内ボ
ランティア組織を取りまとめ活動し
ているボランティア連絡協議会が、
8月8日に帯広市で行われた「ボラ
ンティア愛ランド北海道」での受賞
報告に訪れました。

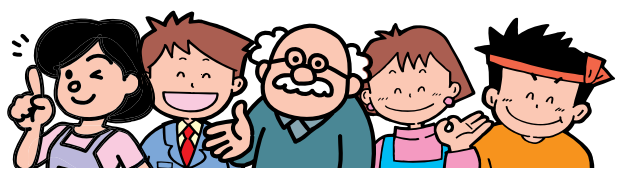
町長は、受賞を称えると共に、8
月上旬に町内で行われた海外の高校
生が集まったユースエコフォーラム
に、数々の日本食をボランティアの
方が手作りして、もてなした事をね
ぎらいました。

平成 15 年度の実績

開催回数 35 回
訪れた人数 233 人 39 団体(121 人)・112 個人

項 目	要 望	意 見	活動報告	参加依頼	挨 拶	その他
件 数	18 件	15 件	20 件	11 件	9 件	12 件

おはよう町長室は、毎週月曜日に開催しています。
お越しの方は、8時30分までに役場2階秘書課で受付をお願いします。(☎ 23 - 2351)



行財政システム再構築プラン

策定に向けて

「皆さんとの協働によるプラン策定」

広報9月号でお知らせしたとおり、町では、住民の皆さんと行政の協働によるまちづくりをより推進するとともに、行財政全般の抜本的な改革を実施し、簡素で効果的、効率的な行財政運営を行うため、行財政システム再構築プランの策定を進めています。

このプランの素案作成前の段階から、住民の皆さんの参加をいただき、広く意見を反映するための方法の一つとして9月10日には、各団体から推薦を受けた方々によるワークショップを開催しました。

再構築を図るための4つの柱



住民参加の推進

住民との協働、情報の共有など

- 事務事業の見直し
民間団体の推進、協働・業務等の刷新など
- 行政組織の見直し
行政組織の見直し、定員管理の見直しなど
- 財政基盤の健全化
歳入確保に向けた取り組み、将来に向けた財政確保など

今回はこの部分の話です
パブリック・インボルブメント (PI)
・ワークショップの実施
・グループインタビューの実施

パブリックコメントの実施

計画づくりに住民参加

パブリックインボルブメントとは・・・

計画の素案をつくる前の早い時期から、団体や住民の意見交換の実施などさまざまな手法で、住民の意向、意見を取り入れて進めていくこと。

ご意見やアイデアを随時募集しています。
企画部行財政改革担当
☎23-2393 FAX 25-5555
E-mail: gyokaku@town.tobetsu.hokkaido.jp
までお気軽にお寄せください。

1 ワークショップを開催

～各団体参加者が話し合う～

様々な立場の人が参加し、一定のルールで、参加者一人ひとりが対等な立場で意見やアイデアを出し合い、結果をまとめていくこと。



9月10日、「ゆとろ」で町内の団体から推薦があった参加者20名による第1回ワークショップを開催しました。

当日は、町長からの挨拶の後、参加者の自己紹介、町から再構築プランの策定趣旨や町民参加によるプランづくりについての説明をしました。その後、コーディネーターの江口先生（北海道医療大学歯学部教授）を中心に、住民参加、事務事業など「4つの柱」の項目に沿って参加者がこれからの当別町に対する思いを文章にする作業を行いました。

9月30日には、第2回ワークショップが開催され、テーマ別にグループに分かれて具体的な検討が進められました。この内容については、次号で詳しくご紹介します。

(敬称略)

江口 正尊	北海道医療大学 ※ワークショップコーディネーター（会議の進行・調整、まとめ役）		
加藤 孝弘	J A北石狩青年部当別ブロック長	稲村 英樹	当別町4Hクラブ会長
泉 吉満	西当別ブロック長	津崎 里美	当別町消費者協会監事
市川 栄子	女性部当別ブロック長	野口 和之	当別町体育協会副会長
石田 まさ子	女性部西当別ブロック長	辻野 浩	当別町観光協会理事
安藤 頼孝	当別町商工会理事	大森 光明	当別町子ども会育成連合会会長
松岡 良尚	会員	袴田 万紀子	当別町ボランティア連絡協議会会員
安藤 英司	青年部長	河野 芳子	
小林 万世	婦人副部長	山本 幹彦	当別エコロジカルコミュニティー理事長
安部 慎	当別青年会議所監事	大原 裕介	ゆうゆう24コーディネーター
村上 スミ子	当別町女性団体連絡協議会会長	渡辺 真理	当別子どもの未来を守る会代表
大西 慶子	会計	坂本 千鶴	プレシヤスネット副代表



2

～世代別に本音でトーク～ グループインタビューの 参加者募集

少人数のグループに、司会進行役がついて、あるテーマに沿って座談会形式で意見を聞くこと。



テーマは「当別町の未来への基礎づくりについて」と「住民参加について」

司会進行役は道医療大学看護福祉学部教授 横井寿之さん

当別町について日頃思っていることやこんな町になったら良いと思うことなど、直接、意見をお聞かせください。

☑募集人数 各グループ6名程度（応募多数の場合は抽選。）

☑グループ内訳・対象者・開催日時 右の表のとおり

☑応募方法 電話、FAXまたは、メールで次の事項をお知らせください。

①氏名②性別③年齢・生年月日

④住所・電話番号⑤職業⑥希望グループ
※第3グループのみ子供の年齢と学年

☑応募締切 10月20日（水）

☑応募先 企画課企画振興係（☎23-3042/FAX25-5555/

メール:kikaku@town.tobetsu.hokkaido.jp

グループ名	対象者	開催日時
第1グループ 高校生・大学生男女グループ	高校生・大学生の男女	11月7日（日） 13時から
第2グループ 若者男女グループ	16歳～29歳の男女	11月7日（日） 10時から
第3グループ 育児・教育期女性グループ	未就学児、小中学生の子供がいる母親	11月5日（金） 13時から
第4グループ 社会人男女グループ	30歳～59歳の男女	11月5日（金） 19時から
第5グループ 高齢者男女グループ	60歳～75歳の男女	11月5日（金） 10時から

※開催場所は直接参加者に連絡します。

※交通費など費用負担はいたしません。ご了承ください。

※ワークショップに参加している方はご遠慮願います。

ワークショップ、グループインタビューの内容は、広報誌、ホームページで随時お知らせします。今後は、素案（原案）ができた段階でのパブリックコメントの実施などを予定しています。



一面に広がるパッチワークの丘

「丘陵のまち」美瑛町を視察しました

～当別町美しい景観委員会～

9月3日、美しい景観委員会の委員の皆さんが美しいまちづくりの参考に美

しい丘が広がる上川郡美瑛町を視察研修し、同町の政策調整室担当者から、景観条例、景観づくりの取り組みなどの説明を受けました。

この町は観光客が年間120万人以上も訪れる全国的に有名な「丘のまち」で、平成元年にリゾート法に基づく「富良野大雪リゾート地域整備構想」の指定を受けました。その後、美瑛の丘を撮り続ける写真家前田真三さん（「拓真館」創立者）の風景写真が注目を浴び、テレビや雑誌などに取り上げられ、美瑛の丘を眺めに来る観光客や町外からの移住希望者が増加し始めました。これを機に町全体が、自然保護や景観を守る意識が高まり、「美瑛町景観条例」や「美瑛の美しい景観を守り育てる条例」が作られました。

もともと地元の方達は景観に対して特別の意識を持っていた訳でも、美しい農村景観を作ろうとしていたものでもなく、農業を営む中での結果として生

まれたものでした。でも、その景観を守るための取り組みは先進的で、十分な配慮がなされていることが説明から聞き取れました。

その一例として次のようなエピソードがあります。つい最近、丘陵に広がる「パッチワークの丘」が見える景観ポイントに、その美しい景観を中継するためにあるテレビ局からパノラマカメラを設置したいという申し出がありました。美瑛を全国にPRする絶好のチャンスですが、その場所にカメラを置くには、高い支柱や電柱などの設置が新たに必要で、そのことが美しい景観を損ねてしまうとテレビ局に再検討を促したそうです。

このことから、景観を守ることに対しては「景観審議会」等で十分に検討し、決して名声や経済効果のために妥協しないという姿勢が美瑛の美しい景観を維持しているということを知ることができました。今後、この研修で学んだことを活かし、当別の魅力を高めていきたいと考えています。

〔担当 まちづくり推進課（☎23-3073）〕



の暴風が吹き荒れた!



16年9月12日(日)

高校卒業して48年、久しぶりに親しかった旧友3人が当別町を訪れてくれた。

4人でゴルフをするのが目的だが「まちの駅」で管内商工会女性部が「うまいもの選手権」を催していたのを友人達に見てもらいたいとも思った。

台風が過ぎた日差しの中、野外で各市町村の特産品で自慢の手造り料理を試食する為に2～300人の町民が集まって賑わっていた。札幌で都会生活を送っている彼等が、何を感じたかは聞けなかったが秋空のように明るい町の人々の表情は印象に残ったと思う。

ゴルフは4人とも、まあまあのスコアで上がり、西校の後輩が経営している店へ行こうと誘ったら後輩の店で大歓迎され普段より相当上等な料理が出てきて皆はゴルフの話でないところで盛り上がった。

“泉亭、お前は学生の時から農村をきれいにしたい！！と云ってたな”と云われたが自分では全く記憶がない。

“ところで学校祭で俺達を選んだ「ミス西校」は今どうしてる？”

“彼女、聖心女子大を卒業して社長秘書をやっていたぞ”等々4人は遠くなった高校時代の郷愁にどっぷりひたり話は尽きなかった。

つくづく良き友がいた事を幸せに思った。

夜、皆が帰ったあと昔、高校に入学した時“君は農村出身であることを誇りに思え”と指導してくれた中学の先生のお顔が次々と想い出されてきた。

すっかり忘れてしまっていたのに……

出来れば今度は中学時代の先生を当別にお招きして、もっと昔を想いだしてみたい。

思えば農業に専念していた頃は“百姓の来年”で来年のことばかり考えていたし、町政を考える立場になってからも将来のことばかり論じていた気がする。

悠々自適の旧友に会えて、いい一日だった。

当別町長泉亭俊考

台風18号

異常に暑かった今年の夏も終わりホッとしていた9月8日(水)、本州各地に大きな被害をもたらしていた台風18号はその勢力が衰えることなく北海道を襲いました。

台風は一般的に中心から東側が特に強風域になると言われ、日本海を北上した今回の台風は本町にも大きな爪あとを残しました。

午前11時20分には札幌で観測史上最高となる最大瞬間風速50.2メートルを観測しましたが本町でも午前9時に同33.5メートルが記録され、外に立っていると危険を感じるほどの強烈な風が吹き荒れました。

住民生活も大きな影響を受け、JR学園都市線は、午前8時には全線運休となり、建造物の倒壊などにより道路がふさがれ通行止めの路線が相次ぎ、西当別地区や中小屋地区では長時間の停電となるなど、不安な時間を過ごされた方も多かったと思われます。

個人の住宅も同様に被害を受け、屋根のトタンが吹き飛ばされたり車庫や物置の倒壊が各地で発生し、消防署の出動回数は20回を数え、警察も朝から町内を巡回警備するなどサイレンが響きわたる一日でもありました。

このような中、町内の幼稚園、小中学校などは前日から臨時休校を決めていましたが、児童、生徒の通学上の災害を未然に防いだこの対応は、賢明な処置であったと言えるでしょう。

また、当別の基幹産業である農業にも、大きな被害を受けました。花卉農家では、ハウスのビニールが剥がれてしまったり倒壊したりと花卉ハウスの7割に被害がありました。収穫を前にした小豆や大豆、水稻も強風にあおられ大きな打撃を受けてしまいました。

被害を受けられた皆さんに心からお見舞い申し上げます。

なお、災害で大きな被害を受けられた場合には、町民税や国民健康保険税の減免措置などを受けることができます。台風に関する手続きに被害届出証明書が必要なときはお問い合わせください。

問合せ ◆税金などに関すること

税務課(☎23-2332)

◆被害届出証明書が必要な場合

総務課(☎23-2330)

広報誌で紹介した写真または
データをご希望者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 23-3069 へ

お味はいかが？地域の新作料理

(9月12日)

石狩管内5市町村の商工会女性部が地域の食材を工夫して商品化を目指す料理の試食会「うまいもの選手権」をまちの駅「アウル」で開きました。

当別は「いもだんご入りコーンシチュー」と「いもだんご入りお汁粉」、北広島市「大志カレー」、厚田村「おからクッキー」と「昆布しいたけ甘辛煮」、浜益村「ほったたき汁」、新篠津村「かぼちゃのスープ」をそれぞれ300食用意し無料で振舞いました。約800人の来場者は、列を成して目当ての料理を試食し、各女性部は試食の感想を聞いていました。アンケートも用意され、女性部のこれからの新作料理に活かされます。



チェロが奏でる優しいハーモニー

(9月7日)



左から2人目が高木さん

当別町出身で現在、チェロ演奏者として活躍する高木慶太さんのコンサートが「ゆとろ」で開かれました。

今回は札幌公演に先駆け、是非、地元で演奏会を、と有志が実行委員会を結成し実現しました。

コンサートは「アヴェ・マリア」(フィッツェンハーゲン)など7曲を披露。会場を埋め尽くした230人の聴衆は、チェロのやわらかく上品な音色に聞き入っていました。

高木さんは6歳からチェロを習い、各種音楽コンクールで入賞、一昨年には、日本演奏連盟新人演奏会で札幌交響楽団と共演するなど活躍中で、「地元で演奏会ができてとてもうれしい。これからも頑張ります」と挨拶すると、会場から温かい声援を受けていました。

子供ミュージカルを熱演

(8月28日)



西当別地区の踊りと歌が好きな小中学生で作る「フレンドミュージカルクラブ」が、今年で3回目となる発表会を西当別コミュニティセンターで開催しました。リーダーの新宅ありすさん(西当中3年生)が脚本、振り付けを担当、衣装から音響操作など全てを子供たちが行いました。

今回は、世界の中で学校にも行けず、食べるため、家族のために働かなければいけない子供たちの現状を歌とダンスで表現し、約200人の観衆を引き付けました。

新宅さんは「児童労働がテーマの会議に参加したのできっかけに脚本を書きました。団員に児童労働の意味を伝えるのが大変だったけど、半年間練習を重ねてとてもいい公演ができました」と笑顔を見せました。

里山でツリーハウスづくり

(9月4日～5日)



町では、野鳥観察や古川の探索など自然体験を通じて環境問題を学ぶ企画を多数用意。

今回、金沢の山あいで「森の隠れ家で自由時間」と題して先月に引き続き2つめのツリーハウスづくりを実施しました。親子連れなど16人の参加者は、全員で話し合いハウスの大きさなどを決めた後作業を開始。1メートルを超える雑草刈りやハウスづくりで最も重要な柱の位置決めなどを当別エコロジカルコミュニティのアドバイスを受けながら楽しく作業を行い2日間かけてツリーハウス（高さ2m・幅3.6m・奥行き1.8m）が完成しました。

今後は完成した2つのツリーハウスを利用して子供たちが里山で楽しめるプログラムを実施する予定です。

「ゆとろ」のデイサービスに通うお年寄りと当別小学校4年生が交流する「敬老を祝う会」が開かれました。

この日は、4組の児童3人と担任の小野寺先生が訪れ、リコーダーの演奏と歌を披露した後、一緒にピンゴゲームをするなど、子供たちが来るのを心待ちにしていたお年よりは楽しい時間を過ごしました。

週2回デイサービスに通う96歳の最年長、沢口ミノルさん（中小屋）は、「毎回楽しみに通っています。今日は小学生に会えてとても楽しかった」と顔をほころばせました。



敬老を祝う会で小学生と交流

(9月9日)



おいしいお酒できるかな

(9月19日)



「酒米の田植えからお酒造りまでをやってみよう」と当別酒米生産研究会と当別米で酒造ろう会が呼びかけ、春に酒米「初雫」の田植えを金沢で行った20組80人が、稲刈りを行いました。

町内外から集まった職場や飲み仲間、家族などのグループは、鎌を持ち、同研究会の指導を受けながら約1時間かけて稲を刈り取りました。

刈り取った稲は、3月にはおいしいお酒になり、オリジナルのラベルを貼って参加者の手元に届けられます。

これぞ古賀メロディー

(9月22日)



ギタリストで歌手としても活躍するアントニオ古賀さんのコンサートがハッピーバレーゴルフ場で開かれました。会場には、約60人の聴衆が訪れ、食事をしながらギターが奏でる懐かしい古賀メロディーと歌、軽快なトークに酔いしれました。

また、コンサート前にこんもりホール（春日町）内にある青木クラシックギター工房を訪れた古賀さんは、ギター制作家の青木さんから説明を受けながら興味深く見学していました。

特色ある“学校づくり”や “充実した社会教育”を目指して

今年は平成11年以来の大変暑い夏で例年以上に海水浴やキャンプなどを楽しんだ方も多いのではないのでしょうか？

暑がった夏休みも終わり、はや1カ月が過ぎました。2学期は修学旅行、学芸会、学校祭など一番心に残る学期でないでしょうか。

また、秋には社会教育も充実した内容の事業を計画しています。

今後も生徒たちの活気ある活動や社会教育事業を随時紹介します。

ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会

☎23-2689

プロに学ぶ 家政科実習授業

当別高等学校

本校家政科は、2年生から保育コースと食物調理コースに分かれるコース制を取り入れています。生徒の特性と希望を生かし、より専門性の高い特色ある学習活動を展開するねらいがあります。



特別調理実習

保育コースでは、9月15日～17日と11月24日～25日の5日間、2年生で初めて「保育実習」を計画し前半が終了しました。16人の生徒が町内5カ所の幼稚園・保育所の先生の指導で幼児教育と保育の『現場』を体験、実習しました。

また、食物調理コースでは、9月16日・17日の2日間、調理・製菓関係の学校の協力で「特別調理実習（出前授業）」を実施。講師の先生方はいずれもプロのシェフまたはパティシエとして輝かしい経歴の持ち主で、生徒たちは普段にも増して真剣な眼差しでその指導に見入り聞き入り、実習に取り組みました。

侵入者から子供たちを守るぞ！

9月2日、町教委主催で学校への侵入者から子供たちの安全を守るために小中学校の教職員を対象に「防犯用刺股さすまたの実技講習会」を当別交番の中田潤一所長を講師に招き指導を受けました。

講習会では実際に刺股（棒の先がU字型の器具が付いて、アルミ製で長さ1.8m）を使って相手の



姿勢を崩し凶器を振り落とす方法を学び、一人だけでなく教員同士が連携して相手に立ち向かう大切さを再確認しました。

琴で学ぶ 伝統文化

中小屋中学校

本校では、昨年引き続き、音楽の授業に和楽器の琴を取り入れ、指導には清水秀瑞先生を招き、全校生徒7人が文化祭に向けて練習を重ねています。



今年度は、町内の全小中学校が集まり合唱や演奏を行う『音楽の集い』はもちろんのこと、地域の方々にも美しい音色を聞かせることができたらと思っています。少人数ですが一人ひとりが目標をもって意欲的に頑張っています。

琴の演奏を通して、人と人との出会いを大事にして、さまざまな考え方に触れ、自分なりの生き方を学ぶ機会になればと思っています。

9月17日 1日で6カ国語を学んだ？

弁華別中学校



自己紹介（名刺交換）

国際交流事業団（JICA）のガンビア、ケニア、ギニア、セネガル、トーゴ、コンゴ民主共和国、の男女8人の研修員が来校し、今年

で3回目となる交流学习を行いました。8人の研修員は、北海道の大学や研究所、農場、食品流通の市場などで最先端の技術を学んでいます。

生徒たちは事前に英語の名刺作成や日本の文化・生活をどのように説明するか、何を質問するかなど意欲的に準備を進めました。当日はヨサコイ披露や全員でダンスを踊るなど和やかな中で交流しました。

また、日本との文化、生活様式の大きな違いに驚き、生徒たちはいかに自分たちが恵まれた生活を送っているかを改めて理解しました。



太陽の恵みに感謝

親子で秋のきのこ狩り

道民の森神居尻地区を会場に1泊2日の日程で、「アウトドアプロジェクト（秋編）森の恵みに感謝 親子で秋のきのこ狩り」が町教委の主催、「当別エコロジカルコミュニティー」の指導で開催しました。

「林野庁きのこアドバイザー」の資格を持つ大垣勇夫さんを講師に、森の中で食べられるきのここと食べられないきのこの見分け方などを教わりながらきのこ狩りを楽しみました。採れたてのきのこはみんなで調理し美味しくいただきました。

2日目は落ち葉や木の枝などを利用してクラフト作りにチャレンジするなど、自然を満喫し家族で楽しいひと時を過ごしました。

（9月18日・19日）



当別学講座で「福祉とまちづくり」

～サポートネットワークを中心に～

町教委と北海道医療大学が共催する当別学講座「福祉とまちづくり」を公民館で開催しました。道医療大学谷中輝雄教授を講師に、ことぶき大学受講生やつくし作業所の方など32人が参加しました。講演は、教授自ら携わったさいたま市のやどかりの里が行う精神障害者の社会復帰活動や当別でのつくし作業所が誕生するまでと、そこに通っている方がたくさんの願いや夢をもっていることなどの話をしました。

また、「障害者だから老人だからと分け隔てなくすべての人の助け合いで成り立ち、人と人がつながり、心の通う町『やさしさを持つ町当別』を作ることが福祉を中心とした町づくりを考えるとき大切なことです」と締めくくりました。（9月10日）



スターライト子ども会見事優勝

当子連少年野球大会

町子ども会育成連合会主催の少年野球大会が当中グラウンドと阿蘇少年野球場で開催されました。10チーム約150人の小・中学生が参加し白球を追う真剣な姿と繰り上げられる熱戦に父母からの声援にも熱が入りました。

決勝戦は、緑町・春日町連合チームとスターライト子ども会が対戦し、延長戦までもつれる大接戦の末、昨年準優勝の雪辱に奮起をしていたスターライト子ども会が逆転サヨナラ勝ちを納め、大森会長より優勝旗を手渡されました。



（8月29日）



“食”シリーズ 米飯給食について

町では、週3回米飯給食（100%当別産を使用）を実施しています。給食のアンケート結果から、ご飯はおいしい（普通も含む）と答えた児童・生徒は約95%います。地産地消が言われる今、年中通して食べられるお米の味を子供たちに覚えてもらい大切にしたいと思えます。

台風18号の影響が心配されますが今年のお米の味はどうか、今からわくわくしています。給食で新米が登場するのは、10月の末頃を予定しています。

平成15年度文部科学省調査結果から

全国で約980万人の幼児・児童・生徒が学校給食で米飯給食を食べています。

☑米飯給食の実施率・月当りの平均実施回数☑

	実施率 (学校単位)	月当りの平均 実施回数
平成15年度	99.3%	11.6回
平成14年度	99.3%	11.4回
昭和51年度 (米飯給食導入)	36.2%	2.5回



予 防 接 種

インフルエンザ予防接種を受けましょう

高齢者へのインフルエンザの発病予防、特に重症化を防止するため、予防接種を実施します。

実施期間 10月1日(金)～平成17年1月31日(月)

対象

65歳以上の方。

60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器に重い障害(身体障害者手帳1級程度)のある方。

接種方法 医療機関で検温・問診・診察し接種可能と判断された

場合、皮下注射を実施。

接種回数 1回

接種料金 自己負担額1,000円

(生活保護受給世帯の方は自己負担額が免除になりますので、「生活保護決定通知書」を提示ください。)

持ち物 当別町発行の健康手帳

予防接種実施医療機関 町内の医療機関

申込方法 事前に実施医療機関へ直接、予約してください。

町外の医療機関での接種を希望の方はお問い合わせください。

問合せ 福祉課保健サービス係(「ゆとろ」内・☎23-2346)

医 療 制 度

北海道医療費給付制度「道老」をご存知ですか

「道老」は、原則として18歳以上の子がいない昭和14年7月31日以前生まれの70歳未満の方で、次のいずれかの世帯に該当する場合には受給対象者となります。

ただし、所得制限があるほか、受給対象者が健康保険に未加入の場合や生活保護を受けている場合は対象になりません。

受給要件

6カ月以上一人暮らしをしている老人単身世帯

配偶者が60歳以上の老人夫婦世帯

老人と児童の世帯(18歳以上の子がいる場合でも特例要件に該当する場合は、受給の対象になります。)

子の特例要件(18歳以上の子) 既婚・未婚・男女を問わず、父母と別居している場合

重度心身障害者・長期療養者

社会福祉施設の入居者

生死不明者・拘禁されている方・抑留中の方

助成内容

老人保健法による一部負担金を除く医療費を助成。

申請・問合せ 福祉課福祉係(「ゆとろ」内・☎23-3019)

検 診

受診しましょう 女性がん検診・骨粗しょう症検診

町では、次の検診を実施します。事前に電話か窓口で申し込みの上、受診してください。

女性がん検診・骨粗しょう症検診

■集団検診：バスで検診センターまで送迎します。

◎受付会場と日程

ゆとろ(西町)～12月3日(金)

西当別コミセン(太美町)～

11月10日(水)

◎受付時間 7時20分～8時

■2個人で検診センターへ行き受診

◎受診期間 3月31日(木)まで

◎受付時間 8時30分～11時、13時～14時(胃がん検診は、午前中のみ)

検診機関 北海道対がん協会札幌検診センター(札幌市東区北26条東14丁目)

検診内容・料金など 表のとおり

▼申込・問合せ 福祉課保健サービス係(「ゆとろ」内・☎23-2346)

検診項目	対象	一般	町国民健康保険加入者
胃がん検診	35歳以上	1,400円	700円
結核検診(レントゲン)	15～39歳	無料	無料
肺がん検診(レントゲン)	40歳以上	400円	200円
”(喀たん検査)	必要者	700円	350円
大腸がん検診	40歳以上	600円	300円
子宮がん検診(頸部)	30歳以上	1,600円	800円
”(体部)	必要者	700円	350円
乳がん検診(視触診)	30歳以上	900円	450円
”(マンモグラフィー)*2年に一回	40歳以上	800円	400円
骨粗しょう症検診	30～59歳	400円	200円

婦人科超音波検査を希望の方は、ご相談ください。生活保護を受けている方は無料。

献血にご協力を

- ◆16歳から69歳までの健康な方。
- ◆65歳以上の方は、献血を経験(60～64歳)している方。

10月14日(木)

◆JA北いしかり本所(錦町)

13時30分～16時



不妊治療を受けている方へ 「特定不妊治療費助成事業」を実施

北海道では、不妊治療を受けている方の経済負担の軽減などを目的として、10月1日から特定不妊治療費助成事業を実施します。平成16年4月1日以降の治療費が対象となりますので必要書類をそろえて石狩保健事務所（江別保健所）に申請してください。

また、町でも1年度5万円を上限に北海道の事業に上乗せして通算2年間の助成をします。

助成の概要は次のとおりです。

◇対象となる治療

体外受精及び顕微授精（以下「特定不妊治療」という。）のみです。

なお、夫婦以外の第三者から提供を受けた精子・卵子・胚による不妊治療や、代理母、借り腹によるものは対象となりません。

◇対象者

特定不妊治療以外の治療法では妊娠の見込みがないか極めて少ないと医師に診断され、実際に治療を受けている方で、次のすべての要件に該当する方。

- ①当別町内に住所がある
- ②法律上の婚姻をしている
- ③夫婦の前年の所得（合計額）が650万円未満
- ④知事が指定した医療機関で治療を受けた

◇助成額

1年度の上限（通算2年間）

- ①北海道10万円（治療費が20万円に満たない場合は、2分の1の額。）
- ②当別町5万円（治療費が20万円に満たない場合は、4分の1の額。）

◇必要書類

- ①特定不妊治療費助成事業申請書
- ②特定不妊治療費助成事業受診等証明書
- ③世帯全員の住民票（記載事項の省略していないもの）※外国籍を有する方は外国人登録原票記載事項証明書
- ④所得額を証明する書類
- ⑤治療に係る領収書



◇申請期間

原則、治療が終了した年度内に、石狩保健福祉事務所（江別保健所）に申請をしてください。

◇申請先・詳細

石狩保健福祉事務所（江別保健所）保健福祉部保健推進課子ども未来係（☎011-383-2111）

◇担当 福祉課保健サービス係
（「ゆとろ」内・☎23-2346）

健康なまちづくりセミナー 運動編

現在は健康づくりに欠かせないものとなっている「運動」。でも、「運動は体にいい」と誰もが知っていても「時間がない」「何をしたらいいかわからない」「続けられない」のが「運動」ですよね。運動はなぜ体にいいのかわかるか、続けるためにはどうしたらよいか、講演を聞き、交流会を通して、わいわいがやがや学びを深めませんか？

- ❖日時 10月26日（火）14時～16時
- ❖場所 ゆとろ（西町）
- ❖内容
 - ①講演「運動をはじめのきっかけ、続けるコツ」
講師 斎川義章さん（健康運動指導士）
 - ②報告「当別町の運動に関する実態と情報」
 - ③交流会

❖申込・詳細 福祉課保健サービス係
（「ゆとろ」内・☎23-2346）



子育て講演会を開催

家庭・地域・学校の連携をより一層深めるために、西当別地区青少年育成会連絡協議会などが主催する講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時 10月9日（土）14時
会場 西当別コミュニティーセンター（太美町）

演題 「子どもとの関わりのなかで」 講師～北星学園余市高等学校 山弘子先生

問合せ 西当別中学校（☎26-2252）



10月1日から 国内外二輪車製造メーカー 15社が 二輪車リサイクルの自主取組を開始

◆**引取対象** バイク・原動機付自転車（車両の状態によっては引き取りができない場合もあります。）



◆**引取窓口**

指定引取窓口 全国 190 カ所に設置
当別町近隣 (株)鈴木商会札幌東事業所 (〒007 - 0820 札幌市東区東雁来262番地 / ☎011 - 875 - 3540)

廃棄二輪車取扱店のステッカーがある店
指定引取窓口までの運搬費用が別途必要です。



◆**費用** 4,120円～6,800円(メーカーによって異なります。)

◆**支払方法** 郵便局で振込みとなります。(振込み用紙は指定取引窓口、廃棄二輪車取扱店に備え付け。)

◆**詳細** 二輪車リサイクルコールセンター (☎03 - 3598 - 8075)
土・日曜・祝日は除く

サラリーマンの医療費控除



医療費控除とは

自分自身及び生計を共にする家族のために、その年(1月1日から12月31日まで)に支払った医療費(一部交通費を含む)が10万円(または所得の5%のどちらか少ない金額)を超えた場合に、所得金額から一定の金額を差し引くもので、控除を受けた金額に応じ、所得税や住民税が軽減されます。これを医療費控除といいます。

医療費控除を受けるには

年末調整をしているサラリーマンでも確定申告書の提出が必要です。その際、医療費の支出を証明する領収書を確定申告書に添付するか、提示する必要があるため、領収書は必ず保管しておいてください。また、会社から渡される源泉徴収票(原本)も必要となります。共働き夫婦が別々に税金を支払っていても、医療費控除はどちらかにまとめて申告ができます。

医療費控除額の求め方

医療費総額 - 保険金など補てんされる金額 =
 - 10万円(または所得金額の5%) = 医療費控除金額
(医療費控除金額の限度額は200万円)

◆控除対象になる医療費など、詳しくは、税務署または役場税務課税務係(☎23 - 2332)までご相談ください。

ダンボール箱を使って 生ごみを 堆肥化してみませんか

家庭の台所から出る生ごみを特別な機器を使わずに、ダンボール箱とピートモスを使って簡単に堆肥化できることをご存知ですか。

町保健衛生会では、1家族1セットで『ダンボールで生ごみ減量モニター』を募集します。数に限りがありますのでお早めに応募ください。



□**応募資格** 町内在住の方(住民登録のある方)

□**応募締切** 10月29日(金)

□**応募先・詳細** 町保健衛生会事務局(「環境対策課」内・☎23 - 2503)

検察審査会をご存知ですか

交通事故などの被害にあって警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。このような場合に、その不起訴が正しいかどうか審査するのが検察審査会です。さらに詳しく知りたい方は、札幌検察審査会事務局(☎011 - 231 - 4200)にお尋ねください。

税金

夜間納税相談窓口

☑**開設日** 10月14日・28日
(毎月第2・第4木曜日に開設)
☑**時間** 19時30分まで
納税相談・窓口納付・軽自動車税納税証明書発行など。

納税のお知らせ

☑国民健康保険税～第4期
☑町道民税・固定資産税～第3期
これらの税金は、皆さんの生活を豊かにするために使われています。計画的な納税で未納のないようお願いします。



制度

大切な保険です 自賠責保険・共済制度



強制保険である自賠責保険・共済は、原動機付自転車を含むすべての自動車保有者に1台ごとに加入が義務付けられている保険です。誰もが加害者にも被害者にもなる可能性があり、交通事故で加害者になった場合は、被害者に対して損害賠償責任を負い、加害者の賠償責任を担保しすべての被害者の基本的な対人賠償を保障する役割を果たしています。

交通事故の発生件数は、10年間で約30%増加し、毎年多くの死傷者を出しています。交通事故による死亡者数は減少傾向にありますが、負傷者数は過去ワーストの118万人を超えています。それに

伴う自賠責保険・共済は、年間約130万件の交通事故被害者に支払われました。特に車検制度のない原動機付自転車、250cc以下の軽二輪自動車は、期限切れやかけ忘れなどにご注意ください。

問合せ 北海道運輸局札幌運輸支局 (☎ 011 - 731 - 7167)

年金

コンビニエンスストアでも 年金保険料が入金可能です



国民年金保険料は金融機関、郵便局、社会保険事務所のほかにコンビニでも納めることができます。(納付書裏面にコンビニの表示があるものに限られます。)

ライフスタイルにあった納め方で保険料を忘れずに納めましょう!

【年金の各種届け出・照会は 基礎年金番号で】

- ・加入している年金の種類が変わっても同じ基礎年金番号を使用します。
- ・年金に関するすべての手続きや照会は、基礎年金番号で行います。
- ・基礎年金番号が記載された年金手帳や基礎年金番号通知書は一生使用する重要なものです。大切に保管してください。

◆**役場窓口年金相談日**
10月6日(水)・27日(水)
1階国保年金係へお気軽にお越しください。

◆**年金保険相談所の開設**
主催 札幌北社会保険事務所
日時 10月20日(水)
10時～15時
場所 商工会館(錦町)

国保

お忘れなく 国保の各種届出

国民健康保険の加入や変更などが必要になった場合には、届出期限を守り、国保年金係で速やかに手続きをしてください。

期限に遅れた場合には、本人に不利益になることがあります。

詳細 住民生活課国保年金係 (☎ 23 - 2467)

	内 容	届出期限	手続きに必要なもの
取得の届出	退職など職場の健康保険の資格が無くなったとき。 健康保険任意継続の期限が来たとき。	14日以内	社会保険離脱証明書(用紙は職場で交付しています。無い場合は国保年金係へ。) 国民健康保険被保険者証(家族に国保加入者がいる場合)
	保険証が無い状態で病院にかかる場合全額自己負担になります。 国保税は、国民健康保険に加入した月から負担になります。1期に納める金額が高額となる場合は、納税方法を相談ください。		
喪失の届出	就職など職場の健康保険に加入したときなど。 本来は使用することが出来ない国民健康保険被保険者証を使って病院にかかった場合、保険給付分(病院代の7割)を返納することになります。	14日以内	新しい健康保険被保険者証 国民健康保険被保険者証
変更の届出	住所・氏名・世帯主が変更になったとき。		国民健康保険被保険者証
退職制度	厚生年金や共済年金を受給の方で、加入期間が20年以上(または40歳以降に10年以上)ある場合は、退職者医療制度適用の国民健康保険被保険者証への切替が必要。	すみやかに	年金証書 国民健康保険被保険者証

第55回 当別町文化祭

11月5日(金)～7日(日)



文化祭開催会場

発表部門＝白樺コミュニティーセンター

展示部門＝総合体育館

◆今年度の開催会場は、当別会場1カ所になります。詳しい日程内容はチラシでお知らせします。

発表・展示部門の申し込み

一般参加者の申込期限＝10月15日(金)まで。

申込先＝公民館(☎23-2511)、または西当別コミセン(☎26-3300)へ。

展示部門の出展＝1人2点まで。

詳細 町教委社会教育係(「総合体育館」内・☎22-3834)



鋭い意見や質問を展開

当別町子ども議会

今年で3回目となる当別町子ども議会を、21世紀を担う町内各中学校の代表生徒が議員となり、実際の議会と同じ要領で開催します。傍聴もできます。

開催日時 10月26日(火)

14時～

場所 役場議場



スウェーデン交流センター情報

織物作家下村好子 **織物展** (入場無料)

❖開催日 10月9日(土)～11月7日(日)

❖時間 10時～16時30分

❖内容 ぬくもりのある織物作品の散々。

❖会場 同交流センター

同時開催 **スウェーデンワールのある生活**

❖開催日 10月2日(土)～10月23日(土)

❖時間 10時～16時30分

吹きガラス

体験教室

毎月2回開催しています。マンツーマン指導で1時間にグラス2～3個を作成できます。詳しくは、問い合わせください。

コースターを手作りしよう

❖日時 10月16日(土)
10時～12時

❖会場 同交流センター

❖講師 下村好子さん(織物作家)

酒井浩慶さん(木工作家)

❖費用 1,600円(材料費込み)

❖定員 先着18名
小学生(低学年は保護者同伴)から参加できます。

スウェーデンの

グラフィカルニット

かぎ針で編むリストウォーマー

❖日時 10月17日(日)
10時～12時

❖会場 同交流センター

❖費用 3,000円(材料費込み)

❖定員 先着10名
かぎ針(2～3号)をお持ちください。(販売は350円)

申込・問合せ スウェーデン交流センター(スウェーデンヒルズ)

☎26-2360/FAX26-2992/E-mail: swedcent@aioros.ocn.ne.jp

自衛官募集の お知らせ

詳細

江別募集事務所・☎011-383-8955

住民生活課住民生活係・☎23-3209

募集項目	応募資格	受付期間	試験日
自衛隊生徒	中卒(見込含)以上 17歳未満の男子	11月1日(月) ～ 17年1月11日 (火)	1次試験 17年1月15日(土) 2次試験 17年1月28日(金) ～31日(月)
2等陸・海・空士(男子)	18歳以上27歳未満の者	随時	受付時に通知

第20回記念当別中学校 吹奏楽部定期演奏会

日時 10月30日(土)14時～
会場 当別中学校体育館
(上履きを持参ください)

「職場を支えるあの人の 最低賃金大丈夫！」

平成16年10月1日現在の最低賃金は **638**円

道内で事業を営む使用者と事業所で働く全ての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイトなどを含む)に適用されます。



説明会

季節保育所統合に伴う 地域説明会を開催します

北・南季節保育所は平成17年3月31日で西保育所と東保育所に統合されます。現在、両保育所に通っている父母や地域の方を対象に地域説明会を開催します。



北季節保育所地域説明会

❖日時 10月14日(木) 18時30分

❖場所 北季節保育所(六軒町)

南季節保育所地域説明会

❖日時 10月15日(金) 18時30分

❖場所 南季節保育所(樺戸町)

問合せ 福祉部子育て担当(「ゆとろ」内 ☎23 - 3024)

健康

傍聴できます 第6回 健康づくり策定委員会

町では、すべての町民が生涯を通して心身ともに健やかな生活を送れるように「(仮称)当別町健康づくり計画」を策定しています。

委員会では、健康に関する情報を共有し、意見交換を行いながら行動計画づくりを進めています。

日時 10月25日(月) 18時
(2時間程度)

場所 ゆとろ(西町)

議題 ころの健康づくりについて 運動・身体活動について

詳細 福祉課保健サービス係(「ゆとろ」内・☎23 - 2346)

募集

秋の火災予防運動中に実施 「防火ミニバレー大会」に参加を



当別消防署では、10月15日から31日までの「秋の火災予防運動」期間中、防火査察や模擬火災訓練を実施し防火を呼びかけるほか、「防火ミニバレー大会」を開きます。

第5回防火ミニバレー大会

日時 10月31日(日) 9時

場所 総合体育館(白樺町)

チーム編成 (一般女子の部)

町内に居住・勤務している女性で、1チーム5名以内で編成してください。

参加料(保険料) 1人30円

申込期限 10月24日(日)

申込・詳細 当別消防署消防課予防係(☎23 - 2537)

警察署からお知らせ

被害者などのための各種相談窓口

～心の痛み 話してみませんか?明日のために～

警察では事件や事故の被害にあった方、家庭内暴力、ストーカー、子供のいじめ問題などで悩んでいる方の相談を受け付けています。

また、事件や事故などで心の傷が癒されずに悩んでいる方のために、民間被害者相談窓口のカウンセラーがあなたの話をお聞きします。

	被害者相談窓口	電話番号
警察	性犯罪被害 110 番	0120 - 756 - 310 フリーダイヤル
	少年相談110番	0120 - 677 - 110 フリーダイヤル
	暴力相談電話	011 - 222 - 0200
民間	北海道被害者相談室	011 - 232 - 8740
	(財)北海道暴力追放センター	0120 - 210 - 490 フリーダイヤル
	北海道交通安全活動推進センター	011 - 233 - 2543

❖ご存知ですか 犯罪被害給付制度❖

通り魔殺人事件などの凶悪犯罪で亡くなられた被害者のご遺族や、一定の要件に該当する重傷病を負ったり、障害が残ってしまった被害者の方に対して国が給付金を支給し、その精神的・経済的打撃の緩和を図ろうとする制度です。給付金を受けるための条件などが細かく定められていますので、詳しい内容は、北海道警察本部(☎011 - 251 - 0110)、または最寄りの警察署に問い合わせください。

料理教室

町食生活改善協議会の 親子料理教室を開催します

お子さんの苦手な野菜もおいしく包んだ巻き寿司を親子で楽しく作りますか?



対象 小学校1年～6年生までの子とその親

日時 10月16日(土) 10時～13時(受付9時45分)

会場 西当別コミセン(太美町)

定員 申込順 20組で締め切り

参加料 1人100円

持ち物 エプロン・上靴・筆記用具

申込期限 10月8日(金)

申込・詳細 佐々木(獅子内・☎26 - 2652)または、荒戸(樺戸町・☎23 - 2670)へ。

参加者のお子さんには
かわいいバンダナをプレゼント

こんな交通場面に潜む
事故への落とし穴 その2

- ①信号機がない交差点を通過するとき
一時停止標識の有無にかかわらず、交差点で必ず一時停止し、しっかり安全を確認しましょう。
- ②駐停車両の直前直後からの横断道路の左右がよく見渡せる場所まで移動してから横断しましょう。
- ③渋滞している道路を追従中
前車の先々の状況にも目配りし、流れの変化を早めに読み取りましょう。
- ④青信号の交差点を通過するとき
青信号でも、特に右、左折車の動向にしっかり目配りしてから、交差点に進入しましょう。
- ⑤交差点で右折するとき
急な右折は禁物、対向車線の安全が十分に確認できるまで待ちましょう。
- ⑥青信号の交差点
青信号でも油断せず右、左折車の動きに注意しながら渡りましょう。
- ⑦「自転車通行可」の歩道を通行中
自転車や車に対する警戒を怠らず、しっかり安全を確かめながら通行しましょう。

当別町の交通事故発生状況（概数）
（8月対比）

	平成16年	平成15年	増減数
発生件数	59	73	△14
死者数	2	2	0
傷者数	85	114	△29

交通安全を願い

ことぶき大学の受講生が交通安全を祈願した『ふくろうの Mascot』を作製し役場前で街頭啓発を行いました。（9月24日）



☆当別町社会福祉協議会へ
井利元征さん（ビトエ）から30万円
田村悟さん（札幌市）から10万円
三橋政志さん（西町）から10万円
高山安弘さん（茂平沢）から5万円
佐々木正市さん（蕨岱）から5万円
弁華別老人クラブ（百石重規会長）
から雑巾144枚
木下裕さん（園生）から車椅子1台

氏名	年齢	世帯主	住所
高橋 正男	87	本人	対雁
佐々木 久	48	本人	蕨岱
浅野 了子	80	本人	園生
佐藤 タマ子	75	本人	権戸町
山内 ミキ	87	本人	六軒町
林 達也	68	本人	茂平沢
小野 茂	82	本人	蕨岱
佐藤 繁一	75	本人	東町
新田 シゲ子	60	夫人	高岡
西田 清吉	68	本人	春日町

出生とおくやみ

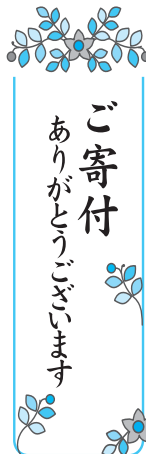
8月14日～9月13日分

おくやみ申し上げます



おめでとーうございます

氏名	父	母	住所
本間 勇翔	栄策	朋恵	美幌1丁目
土井 優太朗	大輔	紫乃	権戸町
熊木 愛菜	哲也	利佳	緑町
萩澤 脩人	緩	美幸	東裏
敬互	佳秀	真弓	当別太
愛純	真幸	香織	幸町



赤い羽根共同募金運動に
ご協力ください

今年も赤い羽根共同募金運動が始まりました。地域の福祉活動を支えるために皆さまのご協力をお願いします。

- ◆実施期間 10月31日（日）まで
- ◆事務局 当別町共同募金会（「町社会福祉協議会」内・☎22-2301）



9月24日に設置されました。

北栄町子ども会
育成会より、もみじ公園へ屋外用時計1台が寄付され、



◆当別町へ

☆当別町まちづくり基金へ
庵義隆さん（中小屋）から100万円

サイクリングでさわやかな汗

初秋をサイクリングで楽しもうと「ファミリー森のサイクルinとうべつ'04」が9月12日に開催されました。

町内外から参加したサイクリング愛好者約100人は、総合体育館から道民の森までの片道約40kmの森のコースと、総合体育館から旧ファミリー農園までの片道約25kmのファミリーコースに分かれて出発。2時間後には全員が到着し、実行委員会が昼食に用意したとうきびなどをおいしそうに頬張っていました。





道民の森 ガイド2004



10月に入り秋も深まってきました。山の紅葉も美しくなり、登山やハイキングなどで道民の森を楽しみましょう。

《文化・芸術の秋》

道民の森では、神居尻地区の総合案内所ロビーを「展示場所」として利用することができます。写真、絵画、陶芸などの作品を展示してみませんか。

【施設の予約・問合せ】

道民の森管理事務所・☎22-3911

当別高校国際協カクラブ 北海道善行賞を受賞

ボランティア活動実践者として



当別高校国際協カクラブは、8月2日(月)に行われた第54回北海道社会福祉大会の席上で、北海道善行賞を受賞しました。同クラブは、これまでに花販売の益金を地雷除去のための寄付金に当てたり、手作りお菓子販売の益金を難民支援に募金したりなどの活動を行ってきました。

また、無農薬バナナの販売でフィリピン農家の経済支援やボランティアに関係する講演会の開催など、新たな活動にも取り組む姿勢が認められ、今回の受賞となりました。

部長の湯浅友美さん(3年生)は、「先輩から引き継いだ私たちの活動が認められてとてもうれしいです。これからも国際的な貢献を続けていきたい」と抱負を語っていました。

法律相談

日時 11月2日(火)
13時~16時
申込・詳細 事前に福祉課福祉係(☎23-3019)へ。

心配ごと相談

日時 10月7日、21日
7日は合同行政相談日
13時~16時
申込・詳細 町社会福祉協議会(☎22-2301)へ。

◎会場 ともに「ゆとろ」(西町)

■人の動き 9月1日現在
()は前月との比較

人口	20,177人 (-31人)
世帯	7,731世帯 (-10世帯)
男	9,884人 (-9人)
女	10,293人 (-22人)

商店街活性化センター「あえ〜る」情報

展示会

❖レクサンド日本公園開園記念写真展

❖期間 10月1日(金)~11日(月)

❖高齢者の生きがいと社会参加

~シルバーの写真パネル展~

❖期間 10月13日(水)~15日(金)

❖レクサンド市小学生絵画展

❖期間 10月20日(月)~31日(日)

イベント

❖フォークソングの夕べ

❖日時 10月10日(日) 18時30分

❖無料包丁研ぎ:シルバー人材センター主催

❖日時 10月15日(金) 10時~15時

時間は10時~17時(月曜は休館、祝日の場合は翌日/最終日は15時まで)。詳細は、「あえ〜る」(☎25-5116)または、商工会(☎23-2447)へ。

まちの駅「アウル」情報

❖ハロウィン祭

❖日時 10月16日(土) 10時

❖旬の野菜収穫祭

❖期間 10月16日(土)~
24日(日)

❖大感謝祭おいしい当別再発見(主催:美しいまち生き活きたした当別を創る会)

❖日時 10月23日(土) 10時

一日合同行政相談所を開設します

相談は無料です。秘密は厳守します。

❖日時 10月7日(木)
13時~16時
❖場所 ゆとろ(西町)

法律相談・行政相談
人権相談・消費相談
心配ごと相談に専門
の相談員が応じます。



10
月健康
カレンダー

Calendar

申込・詳細 福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23 - 2346）

ゆとろ～総合保健福祉センター（西町） 西コミ～西当別コミュニティーセンター（太美町）

	事業名	対象者・内容	会場	日にち	時間	
お母さんと乳幼児向け	マタニティスクール	妊婦同士の交流を中心に元気に妊娠、出産期を過ごしましょう。	ゆとろ	11月2日 火	13：00～ 15：00	
	4カ月・10カ月児健診	該当の日程を対象者へ通知します。 お子さんの成長を確認し、子育てや離乳食など、日ごろの悩みを解消しましょう。		4日 月 11月1日 月	受付13：00～ 14：00	
	1歳8カ月・3歳児健診		西コミ	15日 金	受付13：00～ 14：00	
	歯科検診・フッ素塗布		ゆとろ	25日 月	9：30～ 14：00	
	ポリオ予防接種	生後3～90カ月のお子さんへ「小児マヒ」の予防接種をします。（予約不要）		12日 火 21日 木	13：00～ 13：30	
成人向け	子宮・乳・骨粗しょう症検診	検診車が来て、会場で子宮・乳のがん検診と、骨粗しょう症の検診が受けられます。	ゆとろ	14日 木 19日 火		27日 水
				29日 金		
	女性がん検診	バスで札幌の検診センターへ行き、胃・肺・大腸・子宮・乳のがん検診を受けられます。	西コミ	11月10日 金	受付7：20～ 8：00	
	健康相談	保健師や栄養士が健康についての相談に応じます。	ゆとろ	20日 水	9：30～ 11：30	
	健康運動相談（指導日）	健康運動指導士が個別の運動方法をアドバイスします。		15日 金 11月5日 金	9：30～ 11：30	
	健康運動相談	必要な方はゆとろの運動器具を使った運動実践ができます。		毎週月・金曜 11日は祝日のため12日（火）に開催		
	リハビリ教室	脳卒中、神経難病などにより、体や言葉に不自由さがある方。		6日 水	10：30～ 14：30	
	ねこやなぎの会	脳卒中など同じ病気を持つ仲間と交流や親睦をはかりたい方。	ゆとろ	13日 水	10：30～ 14：30	
	友遊会	外に出る機会の少ない高齢の方。		28日 木	10：00～ 12：00	
	かすみ草の集い	外に出る機会の少ない高齢の方。		西コミ	20日 水	10：30～ 14：30
断酒会	お酒で悩んでいる方とその家族。 （断酒会の申込み・詳細） 日中は江別保健所 ☎011 - 383 - 2111 夜間は工藤 ☎22 - 2510	ゆとろ	4日 月	18：30～ 20：30		
			18日 月			





保健所では難病で療養生活を送っている患者さんやご家族が、生活する上で不安に思っていることやお困りのこと、知りたいことなどについての相談や支援を行っています。

また、特定疾患医療受給者証、在宅難病患者等酸素濃度器使用助成の申請窓口になっています。

【特定疾患医療受給者証】

パーキンソン病、脊髄小脳変性症など国が定める45疾患と橋本病、劇症肝炎を除く難治性の肝炎など北海道の単独事業である7疾患の併せて52疾患について医療費等の一部を助成する制度です。申請には担当医が記載した臨床調査個人票が必要です。対象疾患については保健所にお問い合わせください。

【相談・家庭訪問】

療養生活や介護方法についての相談を電話や来所などで受けています。

また、在宅療養をされている

患者さん宅に家庭訪問を行い、生活状況に合った介護方法やリハビリなどの相談に応じています。

【患者・家族の集い】

同じ病気の方向士が集い、日頃の生活の中での悩みや不安、工夫されていることについて話し合ったり、医療・保健・福祉サービスに関する情報交換や、病气や対応についての理解を深められることをねらいとした集いを行っています。

保健所管内の市町村を会場に年数回行っていますが、当別町では、10月12日にパーキンソン病と脊髄小脳変性症の方の集いを行います。「同じ病気の方と話がしたい」という方は、江別保健所までご連絡をください。

同保健所保健師 大瀧順子



◆連絡先

江別保健所保健予防係

☎011 - 383 - 2111

FAX011 - 383 - 2185

Eメール ebeho.kenko2@pref.hokkaido.jp

Hospital
内科系急病当番医

平日 ⇒ 19時～21時
土曜日 ⇒ 14時～17時
日曜・祝日 ⇒ 9時～12時・14時～17時

10月 (内科系急病当番医)

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
堀江	堀江	堀江	太美	近藤	さわざき	スウェーデン
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
堀江	勤医協	堀江	堀江	堀江	太美	近藤
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
さわざき	とうべつ内	堀江	勤医協	堀江	堀江	堀江
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
太美	近藤	さわざき	とうべつ内	スウェーデン	勤医協	堀江
29日	30日	31日				
堀江	堀江	太美				

11月 (内科系急病当番医)

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
近藤	さわざき	とうべつ内	スウェーデン	堀江	堀江	堀江
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
堀江	太美	近藤	さわざき	とうべつ内	スウェーデン	堀江

◻個別予防接種◻

DPT (ジフテリア・百日せき・破傷風)

⇒ 生後3カ月～90カ月未満

DT (ジフテリア・破傷風)

⇒ 11歳・12歳

麻疹 ⇒ 生後12カ月～90カ月未満

風疹 ⇒ 生後12カ月～90カ月未満

印の機関は事前に予約してから予防接種を受けてください。



医療機関

勤医協当別診療所	☎23-3010	末広
近藤医院	☎23-2021	園生
■さわざき医院	☎25-2055	北栄町 要予約
■とうべつ内科クリニック	☎22-1313	西町 要予約
太美中央医院	☎26-2332	太美南
スウェーデン通り 内科循環器科クリニック	☎25-3151	太美町
■堀江病院	☎22-3111	樺戸町 要予約
とうべつファミリークリニック	☎26-4649	太美町



いま 現在を生きる

写真と音楽でコミュニケーション

荒川 顕さん (中小屋中学校長)

平成 14 年度に当別小学校から中小屋中学校に赴任。中小屋の四季折々と学校の様子を写真で地域に



イチイとアジサイ

伝え、音楽活動を通して、人とのコミュニケーションの場を広げています。

少人数の良さを存分に生かす工夫を日々の学校生活に取り入れています。



中小屋中学校の正面玄関を開けると、「中小屋ハートフルストーリー」の掲示板が目飛び込みます。中小屋地区の四季を映し出す写真にスーッと引き込まれていきます。

同校に赴任して3年目を迎える荒川校長は、中小屋の自然や生徒の飾らない素直な姿を収めた写真を、学校だよりや展示で伝えています。

「中小屋に来たとき、小さな学校を巣立つ子供たちに、ここの素晴らしさを発見していつまでも誇りに思ってもらいたい。素敵な風景を言葉で伝えるより写真の方が伝わるのでは、という思いだったんです。写真を見た地域の方に後押しされて、中小屋会館や郵便局にも展示させてもらっています。写真も気持ちを伝えるコミュニケーションのひとつだと思いますね」という先生が作る学校だよりは、季節を感じる写真とコメント、生徒たちの笑顔が溢れていて、写真が言葉では伝わらない大切なものを伝えてくれているのが実感できます。

「デジカメ片手に出かけると声をかけてくれることも多く、早く地域になじむこともできました。何より写真を通して人との関わりが広がりました」と、今ではデジカメを手放すことが出来ないようです。

チャレンジ精神旺盛な荒川校長は、子供たちにもいろいろなことに取り組んでもらいたいと昨年からは音楽の授業に琴の演奏を取り入れています。夏休み期間中に3人の女性教諭が、町内の琴の先生のもとで猛特訓して、現在生徒に教えています。「今年は、2年目なので発表の場を広げて多くの人に聞いてもらおうと思っています。発表する場があると、生徒たちも練習に熱が入ります。うまくできない悔しさから涙をにじませる生徒もいますが、くじけ

ずに目標に向かって頑張る力を養っていけたらと思っています。先生方も理解してくれて熱心に指導しています」

そんな荒川校長は、早来町の全盲グループ『スマイルフォービート』のコンサートを支援するボランティアや、自らも70年代フォークを中心に活動するバンドにも所属しています。以前、赴任していた学校の父母や先生とバンドグループを組み、千歳の馴染みの喫茶店で練習を重ね、8月には、野幌森林公園内にある「森林の家」でコンサートを開きました。「バンド仲間と何を演奏しようか、お客さんが来てくれるために何をしたらいいだろうかと、当日までの練習はもちろん、準備の心配や緊張は絶えないのですが、携わってくれた人との関わりの中で学ぶことがたくさんあります。いざ本番に会場いっぱいに来て下さったお客さんを見るとやってよかったという充実感を味わうことが出来ます。

コンサートなど、発表する場を企画して実行するまでを経験することで、人として成長していけるので、先生や生徒たちにもそんな経験をしてほしいと思っています」写真や音楽はもちろん、校外の人との関わりを積極的に取り入れて、生徒数の少ないハンディを乗り越える工夫を重ねている荒川校長のアイディアは果てしなく続きそうです。



夕暮れの中小屋中学校

